



(情制シ) 事業部長メッセージ

齊藤 裕

2007年度日工専同窓会本部を(情制シ)が担当させて頂いたことに感謝申し上げ、一言ご挨拶を申し上げます。

私ども(情制シ)の担当する社会インフラを支える情報と制御システム分野は、トラブル・事故が発生すると社会に与える影響が甚大となる分野です。こうした絶対信頼性が要求されるシステムにも関わらず、世界初となるシステムをこれまで数多く世の中に送り出して参りました。それが、野武士と呼ばれた日立の歴史であり、(情制シ)の歴史でした。このようなことができたのは、お客様に恵まれていたことに加えて、良い組織体質とそれを作り上げる素晴らしい教育システムがあったからだと思います。それは、まず基本的な精神をDNAとして組織文化に摺込み、そして現場主義に徹した日々のモノ作りを真剣に学ぶ場・OJTにより気付きと動機付けをして

行くことで、全員が自己鍛錬をしながら、成長できるやり方です。基本的な精神とは、とりもなおさず、全社としては「日立精神」(和・誠・開拓者精神)であり、それを組織文化として摺込んだのは(お)では行動指針の「GO綱領」(1. より高い技術に挑戦しよう。2. 信頼に値する仕事をしよう。3. 相手の立場に立って考え行動しよう。4. 清新にして活力に満ちた職場を作ろう。5. 自戒と感謝の気持ちを持とう。)でした。

現在のグローバル競争の中でトップに立つためには個人、そして組織の力を高め、世界初という製品システムを世に送り出す必要があります。このためにも、今必要なことは、過去に築き上げてきたコア技術に加えて、コア精神・DNAというものをもう一度見直し、組織に徹底し、その上で全員が真剣にOJTを実行して行くことです。

日工専同窓会の皆様におかれましては、日立製作所の技術、精神・DNAを継承し、OJT実行の中核人材として益々のご活躍を期待しておりますので、宜しくお願い致します。

日工専同窓会の更なる発展を目指して

2007年度 日工専同窓会副会長 (情制シ) 沖田 憲士(26期 ソフトウェア工学科)

2007年度の同窓会本部は、(情制シ)が担当させて頂きました。本年度の「日工専同窓会の更なる発展を目指す。」に対し、取り組んできたことをご紹介します。

1. 全国支部長会議の開催

学院との連携を強化および発生費用削減を狙い、学院で全国支部長会議を開催しました。(6/16)

出席した支部は14支部でしたが、来年度以降は、本社または京浜地区の会社施設で実施することを提案し、より一層の出席率向上を目指したいと思います。

2. 会報発行: 2回/年、社内ホームページ掲載ならびに紙ベース配信。

3. 同窓会本部と支部(地区)との連携強化

日立AP(多賀)支部、HPT支部、(電線)支部等に訪問し、各支部の活動内容、本部同窓会活動について意見交換しました。支部により、積極的に同窓会活動を推進し、日工専受験対象者への受験に向けたサポートや同窓会主催による旅行等積極的に取り組んでいる事業所もあり、非常に参考になりました。

日工専は、より深い知識を学び、実践・行動する習慣を身に付ける場として、今後一層重要な役割を持つてくると思

います。是非、日工専同窓会のメンバーは、次の日立の中核を担う若手に、日工専で学べるようチャレンジ精神の醸成、サポートをお願いします。

4. 社外ホームページ活用の検討

日工専同窓会を社外からアクセスできるように調査・検討を実施しましたが、情報セキュリティの観点から、現状の同窓会本部を各支部交替で毎年持ち回る制度において、ルールを正しく引き継ぎ、維持していくことが難しいと判断しましたので、従来通りの運用とさせて頂きます。今後、同窓会報の内容をより一層充実して参ります。

5. 50周年に向けた会員名簿の整備

2010年の日立製作所100周年に日工専同窓会も50周年を迎えますので、名簿の整備をシニア支部の全面的なサポートにより推進しております。

今後も各支部のご協力をお願いします。

以上ですが、日工専同窓会の会員同士の絆を若手を中心により一層強化し、各事業所の中核として活躍されることをお願い致します。





名簿管理委員会 活動状況

会員名簿の整備の為、昨年度設置しました“名簿管理委員会”の活動を推進しました。

名簿管理委員会は、同窓会常任理事、シニア支部、学院及び同窓会本部にて構成し、名簿のデータベースを学院内パソコンに保存し、本部より各支部から提出いただきました会員名簿を学院内パソコンに送り、学院にて名簿のメンテナンスを実施します。名簿のメンテナンスの実作業はシニア支部の方が実施しています。

今年度は、昨年11月から本年2月に亘り打合せを3回、名簿メンテナンスの実作業を14回実施しました。この活動により、次の流れで“異動や分社化により宙に浮いている人を、各支部に属するように働き掛ける”ことを実施したいと考えております。

(1) 第1ステップ (名簿委員会)

各支部名簿と本部名簿の突合せを1件1件実施する。

(2) 第2ステップ (名簿委員会)

第1ステップにより判明した、各支部に属さない人で所属が不明な人について、社内Webで所属を調査する。

(3) 第3ステップ (同窓会本部)

第2ステップにより判明した、所属が不明な人が所属する支部へ、会員の異動について連絡し、登録願いを依頼する。

また、50周年記念行事での名簿発行について各支部長からのご意見をまとめております。名簿発行については、個人情報保護法の観点から発行するにはそれなりの障害が考えられます。そこで、名簿発行の必要性について各支部長にご意見をお伺いしました。本年3月時点で41支部から回答を得ており、以下に内容を報告致します。

A : 50周年記念名簿発行は必要(掲載者の了解を得る)
→ 9支部

B : 50周年記念名簿発行は不要 → 27支部

C : その他 → 5支部

主な意見として、“必要”と回答したAでは、①卒業生リスト(何期生がどれくらいいたか)がほしい、②同期の消息を知りたい時がある、といった意見を頂きました。

また、“不要”と回答したBでは、①利用内容があまり思い当たらないのに対して、発行するにあたっての各支部等の負荷やリスクは限りなく大きいように感じる、②通常卒業生間の交流は同期会や支部同窓会での交流が主体であり、それなりに活動していれば名簿も存在していると考えられ、それで十分と思える、③全部の支部名簿を集めるのが難しい折り、退職者や故人、姓の変わった人、事業所移動者を卒業時のデータをそのまま載せても、内容が薄まってしまい、利用価値がなくなってしまう、④40周年記念名簿をもらったものの正直利用していない、⑤居場所を知るためならHiweb等の検索機能で代用可能、といった意見を頂きました。

さらに、“その他”と回答したCでは、代替案としてイントラネットによるWeb名簿検索(OBも利用することを考えると認証方法の検討は必要だが、期・工学科の一覧と、現在の所属事業所が検索できる)を検討してほしい、といった意見を頂きました。

2007年同窓会本部としては、①卒業生リスト(XX期、XX学科)として名簿を発行(これならば、全員の承諾は不要と考える)、②社内イントラネットを利用できない方々も含め会員全員が、自分の知りたい人の現在の所属事業所が確認できる機能の準備を提案する(認証方法の検討も必要)という考えです。

2008年度も上記考えを基に引き続き活動を継続していきます。



(日高)支部

2007年10月19日に(日高)支部訪問を行いました。今回の目的は、会員数減少に伴う支部統合{(線)支部→(日高)支部)を受け、現状の活動状況や問題点のヒアリングと本部ローテーションに参加いただくための意見交換を実施しました。当日は、渡部常任理事、石原シニア支部長、学院から和久井部長代理、合田事務局長にもご足労頂き、活発な意見交換ができました。(日高)支部は、会員数が適度(64名)であることもあり、総会のほかに旅行会や1泊研修などの行事を実施しており、大変活

発な活動をさせている印象を受けました。また総務部との密接な関係を築いているように見受けられ、会社側のバックアップもあり、支部としての基盤の強さを感じました。本部ローテーションへの参加も了解頂くことができました。打合せ終了後は、懇親会を開催し、若手の飛び入り参加があったりと、大いに親睦を深めることができました。



(神)支部

2008年1月22日に(神)支部訪問を行いました。電車の窓からは、前日の雪のなごりが見え、丹沢山系の麓であることを実感しました。

当日は、浅沼常任理事にもご出席頂き、本部からは飛世会長他1名、学院からは合田事務局長にご足労頂きました。また、(神)支部からは、斉藤総務部長代理、根津次期会長他2名の方が出席されました。

(神)支部は、来年度の同窓会本部を務めて頂くため、今回は事前引継ぎを兼ねた訪問です。2007年度同窓会本部活動の運営状況を報告した後、質疑応答を行いました。

会議の中では、(京専)が無くなり京浜地区での同窓会活動がやや低迷気味であることから、50周年(2010年度)行事に向けて活動を活性化していきたいとの意見が出ました。(神)支部には是非その牽引役になって頂きたいと思いました。

(神)支部におかれましては、これから本部組織を立ち上げ3月の引継ぎに備えていただくことをお願いし、今回の支部訪問を終了致しました。

また、当日は短い時間ではありましたが、事業所見学をさせて頂き、その後懇親会を開催致しました。懇親会では、ご多忙中にも係わらず櫻井総務部長にもご同席頂きました。

総務部の強力なバックアップのもと、次期会長、副会長という体制が出来ており、(神)支部の組織力の強さを感じることが出来ました。



支部活動紹介

日高支部

日高支部は2年前に(線)支部と合併して日立市内にある5つの日立電線の工場の同窓生(64名)が集まって構成しています。会員は日高工場、高砂工場、電線工場、みなと工場、豊浦工場と5つの工場に分散して普段は別々の場所で勤務しています。離れた工場の会員同士が仕事&プライベートに協力しあえる環境を作るためにも支部活動は欠かすことが出来ません。



日高支部では毎年、一泊研修会、バス旅行、中国語研修会(麻雀大会)、ゴルフコンペなどを企画して会員同士の親睦を図っています。

一泊研修会では同窓会員が講師を務め、業務の紹介や耳より情報などを発表し、温泉&宴会で夜更けまで語り合います。また、バス旅行では家族も一緒に参加して、日頃忘れがちな家族サービスをしています。

特にバス旅行は「お台場&浅草見物と屋形船」、「那須方面へブルーベリー狩り&銀河高原ビール園めぐり」などなど、幹事さんの様々な企画のおかげで募集定員を超える参加申込みも多くご家族の方からも好評です。今年は「横浜散策」に行き、中華街やみなどみらいなどを散策して来ました。

こうした支部活動の行事に参加することによって会員同士の一体感が生まれ、同窓会の利点でもある「他部門に顔が利く」環境が作られていると思います。今後も支部活動を継続し、日高支部の連帯感を強くしていきたいと思っています。

多賀支部

研修旅行開催 ～野球観戦～ 西武ライオンズ vs 福岡ソフトバンクホークス

2007年7月7日(土)、777の並ぶこの日、日工専同窓会研修旅行が開催されました。

会員家族を含めた23名の参加で、埼玉県所沢市にあるグッドウィルドームで開催された、パ・リーグ公式戦、西武ライオンズ対福岡ソフトバンクホークス9回戦を観戦致しました。

梅雨がまだ明けていないこの日の天候は曇りでしたが、球場と屋根の間が吹き抜ける通風型ドームのため(空調設備なしでも)涼しく爽やかな環境で観戦をすることができました。

往路の車中では、出発と同時に乾杯が始まり、盛り上がってきたところで、恒例のビンゴゲームの他に、勝敗・ホームラン数当て予想も行いましたが、司会者の『乱打戦か!?!』(8回戦までの成

績が5勝3敗で)ホークス先行』の予想に乗って、荒れた試合予想をした方が多く出ましたが、1, 4, 6回と着実に得点を重ねていく西武ライオンズに対し、なかなか得点に結びつかないソフトバンク打線となり、西武勝利で予想クイズは的中者ゼロとなりました。

球場では、試合開始前に団体入場者として、電光掲示板に日工専同窓会御一行も紹介していただき、楽しい雰囲気の中で試合観戦をすることができました。



土浦支部

古賀 稔彦氏 特別講演会開催 ～夢の実現～

2007年3月14日(水)(HPT)大会議室において毎年恒例の特別講演会を実施しました。



今回の講演者は、1992年のバルセロナ五輪において、大会直前の大怪我を克服し、見事金メダルを獲得。日本中に感動を呼んだ『平成の三四郎』こと古賀稔彦氏をお招きして、「夢の実現」と題し、ご講演いただきました。会場には、著名人の講演ということもあり、多くの人が詰めかけ大盛況となりました。

講演では、氏の現役時代の輝かしい功績でも物語られている通り、ご自身の経験から目標や信念に向かって努力するこ

とへの情熱や大切さを教えていただきました。現役を引退後も柔道教室を開く為に自宅を兼ねた柔道場に改装し、2003年4月から”古賀塾”を始めるなど氏の柔道家魂に大変感心するとともに、自分がそこまで情熱を懸けられるものが何かを改めて考えさせられた講演でした。

内容としては、意外にも現役時代よりも引退後の話題が多く、冒頭では、オリンピックコーチ時代に、選手と一緒に試合前に行なった(体に気合をいれるための)“儀式”を実演!実演後は、講演会参加者全員を巻き込んで一緒に儀式を行うなど、これまでにないスタイルの講演会となり、皆あつという間に引き込まれ、気が付いたら講演時間を過ぎるほどでした。

(つち)支部では、毎年、著名人を招いての講演会を開催しており、2008年も講演会の開催を予定しています。

RSD支部

去る、11月21日(水)にHSP8階ハイラウンジにおいて一年振りとなる行事、2007年度(RSD)(SSD)(CP)日工専同窓会懇親会を実施しました。

現在、約110名からなる支部ですが23名が参加し懇親を深めました。46期卒業の新人2名も参加し長老から新人までそろい、また総務部長にも出席頂き、(日工専)への思いを相互に情報交換をする事が出来ました。

我が支部としては活動が少なく、参加者も少ない状況ではありますが、今後も途切れず定期的に懇親会を開催し若い人達の参加率を上げて行きたいと考えております。



日立支部

2007年7月13日(金)天地閣において、第33回総会及び懇親会を開催致しました。



当日はご多忙のなか、ご来賓として飛田学院長、和久井部長代理、石村主任教授、田中教授、顧問として勤労部の堀越部長、青木部長代理にご列席を賜り、盛大に開催致しました。

今年度役員より、本年度のスローガン「ネットワーク再構築=50年の絆に向けて=」に基づく活動方針と予算についての説明を行い、拍手をもって承認され総会の部は滞りなく終了致しました。

総会に引き続き、懇親会を開催致しました。

年に1度の総会なので普段は顔を合わせる事が出来ない仲間達と久しぶりに会話が弾んでいました。新入会員となった47期卒業生からは、自己紹介と若さ溢れる力強い決意表明をして頂きました。また、今回は新たな試みとして現役の先生の紹介や抽選会を実施し、親睦を深めることができました。

シニア支部活動紹介

『福島県・田代山への健康登山』

平成19年度シニア支部の第2弾行事は健康登山で、7月9日～10日の1泊2日の日程で、福島・栃木県境の田代山(1,926m)に10名の同窓生が参加して実施しました。



田代山は尾瀬国立公園に新しく認定されました花の百名山として有名で、群落を形成しているオサバグサをはじめ、田代山の湿原では、木道からワタスゲの果穂、ヒメシヤクナゲ、イワカガミなどの高山植物の美しい花たち、中でも尾上蘭を見ることが出来ました。山頂では、全体の記念写真を撮影して、健康登山の喜びを分かち合いました。

下山後、木賊温泉の民宿福本家に宿泊して岩魚山菜料理などいただき、盛り上がりました。来年度以後も会員の親睦と体力維持を目標に「健康登山」を計画します。

『笠間の菊まつり』と『茨城県陶芸美術館』ミ三研修

平成19年度の第3弾行事として、11月4日(日)に笠間の菊まつりと茨城県陶芸美術館を回る『研修&ウォーキング』を開催しました。総員9名が参加、菊まつりの美しさ、素晴らしい陶芸の世界などを見聞きできた楽しい秋の一日のハイキングでした。

菊まつりのメインは、菊人形による『風林火山』、見事な12景が展示されていました。昼食は、支部長推薦の「紅葉亭」の十割蕎麦の絶品の味にみんな満足でした。

午後は笠間芸術の森公園にある茨城県陶芸美術館を見学しました。ちょうど、北大路魯山人と岡本太郎の二人展が開催されていて魯山人の書や陶芸、太郎の絵画・彫刻・陶芸など141点の作品にみんな満足でした。

笠間駅を出発して、駅に戻る7km、7時間のハイキングで健脚を称えしていました。



(日工専)生活で得たもの

48期 管理工学科 高田 瑞政

今回、現役の学院生が同窓会会報に記事を掲載させて頂くということで、卒業までまだ期間はありますが、この(日工専)生活で、私が得たことを振り返ってみました。私は現在、寮委員長を務めさせて頂いています。寮委員長という仕事を通じて学んだことは数多くあります。人間関係の構築の大切さや大変さ、発言や行動に責任を持つということ、寮生全体を取り纏めることの難しさなど、ここ(日工専)に来ることがなかったら経験でき

なかったことばかりでした。そして、この数々の経験は自分自身を変えたと思います。相手の意見を聞き、公平に物事を捉え発言できるようになり、また、同年代の人たちだけでなく、目上の人たちも含めて先頭に立って全体を取り纏めるということもできるようになりました。このように、(日工専)生活で専門知識などの教養、幅広い知識と応用力、そして、かけがえのない仲間たちを私は得ることができました。この貴重な経験をさせて頂いていることを、職場の方々、(日工専)の方々、そして、ここで出会えることのできた仲間たちに感謝し残りわずかの(日工専)生活を大切にしていきたいと思います。

広報からの
お願い

★記事の依頼について

各支部の特色ある行事紹介を募集します。写真を添えて本部行事担当まで送付下さい。支部活動活性化の一環として、積極的に取り入れたいと考えております。

URLの
ご案内

★インターネットでも(日工専)の情報を入手できます。

日工専同窓会(イントラ:日工専内)
<http://www.gakuin.hitachi.co.jp/ob/dosokai/>
◆連絡、紹介、募集などに、“掲示板”(新設)をご活用ください。
シニア会員支部(アドレス変更)
http://www7a.biglobe.ne.jp/~htc_senior/index.html

編集後記

本号では支部活動紹介を中心に編集にあたりました。当初は、「予定枠を埋められるか」という不安がありました。最終的にはより多くの支部より寄稿頂き、「どう収めるか」という、うれしい問題に変わりました。編集が不慣れなため、字が小さく、見づらくなってしまった点はお詫び申し上げますが、より多くの支部活動紹介ができたことは良かったと思っています。この場を借りまして、ご協力頂きました支部には感謝申し上げます。

広報担当の主な役割は会報の作成・発行でありましたが、皆さま方の活動内容を会報を通じて発信することが、同窓会活動の活性化につながるものと信じております。2008年度は本部を(E S D)にバトンタッチします。今年度以上に、より多くの活動内容を紹介できるよう、ご協力をお願い致します。(次号以降の記事提供は(E S D)をお願い致します。念のため)

発行所

日立市西成沢町
日立工業専門学院内
日工専同窓会本部
編集人
広報 梅原 敬
発行人
(情制シ)飛世 正博